

2015年4月24日

第674回 本委員会の主要議題と概要

日本化学繊維協会

日本化学繊維協会（会長 越智 仁 三菱レイヨン株式会社 代表取締役 取締役社長兼社長執行役員）は、本日 11 時より第 674 回 本委員会を開催しました。

主要議題およびその概要は以下の通りです。

1. 「中長期的な標準化活動計画」（中期計画）について

化繊協会では、以下の通り、「中長期的な標準化活動計画」（中期計画）を策定いたしました。

- ・化繊協会では、中期計画において「情報発信」「連携推進」と共に「標準化」を重点事業の一つに位置付け、昨年 8 月に設置した標準化推進 WG において、高性能・高機能化学繊維の標準化事業を推進している。
- ・この度、昨年 5 月に経済産業省が策定した『標準化官民戦略』への対応として、「中長期的な標準化活動計画」（中期計画）を取りまとめ、2015 年度より実施することとした。
- ・また、2015 年度は次の 5 つの標準化事業を実施する予定。
 - ①コンクリート混合用高機能繊維 JIS 開発（高機能 JIS／継続）
 - ②遮熱性繊維製品及び防虫(蚊)性繊維製品に関する JIS 開発（高機能 JIS／新規）
 - ③熱可塑性三次元網状構造繊維製品に関する JIS 開発（高機能 JIS／新規）
 - ④一方向炭素繊維強化プラスチック帯板材(CFラミネート)に関する国際標準化（戦略的国際標準化加速事業／継続）
 - ⑤キュブラ及びリヨセルの繊維鑑別試験方法に関する国際標準化フィージビリティスタディ（戦略的国際標準化加速事業／新規）

2. 日仏繊維産業協力 WG について

日仏繊維協力 WG の活動の一環で、3月9日～13日の5日間、フランス（パリ他）に派遣した訪問団の報告がありました。

- ・訪問団には、経済産業省（2 名）、化繊協会（18 名）、繊維学会（5 名）の計

25 名が参加して、①日仏繊維協力 WG の共同テーマ探索のためのワークショップ開催、②仏ユーザー企業との面談などを行った。

- ・ワークショップでは、①スマートテキスタイルの応用開発、②リサイクル対応、③エコ素材の使用による環境配慮型製品開発等について関心が示され、今後の活動に取り込む方向とした。
- ・ユーザー企業との面談は、①アルストム・トランスポート社（鉄道車両）、②デカトン社（スポーツ・アウトドア）、③ロワール県メディカルクラスター、及び同県の中堅企業、④シチズン・サイエンス社（eテキスタイル）との面談を行った。

3. 最近の通商・繊維貿易動向について

「最近の通商・繊維貿易動向」について概要が、以下の通り報告がありました。

- ・2014 年の世界の繊維品貿易は、前年比 4%増の約 8,000 億ドルに達し、2 年連続で過去最高の見通し。世界の繊維品貿易は、2010 年以降、FTA 網の拡大等、世界的に自由化が進み、年率 7%を超える高い伸びとなっている。
- ・2014 年のアジアの繊維品輸出をみると、中国は 5%増の 2,993 億ドル。一方、ベトナムは 16%の大幅増、インド、バングラデシュも続伸した。
- ・東アジアの繊維品貿易フローをみると、アセアンを軸とした貿易フローが FTA の効果もあり急拡大している。
- ・2014 年の日本の繊維品貿易（円ベース）をみると、輸出は 7%増、輸入は 2%増となった。輸出入とも最大の相手国である中国との貿易が減少した一方、アセアンとの貿易が 2 桁増となった。
- ・日本は、既に 14 本の FTA を発効済み。2014 年の繊維品貿易のカバー率は輸出で 25%、輸入で 20%となった。今後、交渉中のメガ FTA（日中韓、日 EU、TPP）が締結すると、輸出で 8 割、輸入で 95%と大部分をカバーする。

4. 学習まんがについて（電子版）

学習まんがの電子版を化繊協会ウェブサイトでご覧いただけるようになりました。

- ・昨年秋に講談社より発行された学習まんが「まんが社会見学シリーズ 大研究！化学せんいのちから」の電子版が、このたび化繊協会ウェブサイトからイ

ンターネット上でご覧いただけるようになりました。

- ・ 電子版はパソコンだけでなく、タブレットやスマートフォンなどからもご覧になれます。また冊子と同様に、本編をさらに詳しく説明したコラムページも充実しておりますので、大人の方も楽しめる内容となっています。
- ・ 学習まんが「大研究！化学せんいのちから」は未来を担う子供たちに化学せんいの先端性について理解を深めてもらうことを目的とし、日本化学繊維協会と一般財団法人カケンテストセンターが制作いたしました。冊子は全国の小学校（約 21,000 校）および公立図書館（約 3,150 館）に寄贈されています。

<本件についての問い合わせ先>

担当：日本化学繊維協会 技術グループ 竹内・川名（03-3241-2312）

以上